

教育委員会第6回定例会議 会議録

1 日 時 平成23年6月15日(水)
開会 13時30分
閉会 14時30分

2 会 場 金沢市本庁舎 4階401会議室

3 出席委員(7名)

教育委員長	佐藤秀紀
教育委員	早川芳子
〃	前川信政
〃	柳下道子
〃	岡能久
〃	米井裕一
〃(教育長)	浅香久美子

事務局	教育次長(兼)学校職員課長	上林雅彦
	学校教育部長	平嶋正実
	(兼)市立工業高等学校教育改革推進室長	
	教育総務課長	浦世史宏
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	高村政博
	教育委員会担当部長(兼)学校指導課長	野村豊
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	山田裕
	教育委員会担当部長(兼)市立工業高等学校事務局長	奥村敏郎
	生涯学習部長(兼)生涯学習課長	縄寛敏
	都市政策局担当部長(兼)歴史建造物整備課長	野島宏英
	教育委員会担当部長	森田勝
	(兼)図書館総務課長	
	(兼)玉川図書館長	
	泉野図書館副館長	廣田康太郎
	玉川こども図書館副館長	村田健
	金沢海みらい図書館長	石蔵茂幸
	教育プラザ富樫総括施設長	越田理恵
	(兼)地域教育センター所長	
	研修相談センター所長	山下美奈子

4 案 件

非 議案第20号 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱等について
(教育総務課)

非 議案第21号 金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
(歴史建造物整備課)

報告第10号 夏季休業期間中における授業の実施について (学校指導課)

報告第11号 平成24年度金沢市立工業高等学校の募集定員及び推薦入学
における推薦枠について (市立工業高等学校事務局)

そ の 他

- (1) 平成 2 3 年度金沢市教員採用候補者選考試験
(金沢市立工業高等学校教員) の申込状況について
- (2) 平成 2 3 年度「全市一斉学校公開週間」の実施結果について
- (3) 金沢海みらい図書館の利用状況について
- (4) 次回の定例会議の日程について

5 議事の経過等 以下のとおり

佐藤委員長の開議あいさつに続いて、議事録署名委員として早川委員を指名した。本日の議題について佐藤委員長が議案第 2 0 号、議案第 2 1 号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、報告第 1 0 号、第 1 1 号、その他 (1) (2) (3) について資料に基づき説明があり、質疑応答が行われ、原案どおり可決・承認した。また、7月の定例会議の開催日を次のとおり決定し、閉会した。その後、議案第 2 0 号、第 2 1 号について非公開で審議に入り、原案どおり可決し、閉会した。

* 7月の定例会議の日程：平成 2 3 年 7 月 2 0 日 (水) 1 3 : 3 0 ~

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

報告第 10 号 夏季休業期間中における授業の実施について (学校指導課)

(説明の概要) 今年度の夏季休業中における授業の実施について、小中学校合わせて 21 校から申請があり、「金沢市立小学校、中学校管理規則」により、いずれも承認した。今年度実施する学校は小学校 9 校、中学校 12 校となっている。実施日数は少ないところで 1 日、多いところで 3 日。実施学年については、一つの学年で行う学校が 8 校、複数の学年で行う学校が 1 校、全学年で行う学校が 12 校となっている。内容については、2泊3日の宿泊体験学習を行う学校や、総合的な学習の時間での体験活動を思い切りさせたいということで夏季休業中に行う学校、中学校においては、中学校 2 年生において職場に赴いて学習するといったキャリア体験授業 (旧「わく・ワーク体験授業」) などを教育課程に位置付けて実施することになっている。なお、実施に当たっては、児童生徒の負担に配慮する、保護者の了解を得る、学年単位以上で行うこととなっている。

佐藤委員長	21 校ということは、小中合わせると 4 分の 1 ぐらいでしょうか。これを実施する学校の増減というかは、これまでと比べてどうでしょうか。
野村学校指導課長	夏季休業期間中における授業の実施は昨年度から行えるようになりました。昨年度は 1 年目ということもあって、小学校 4 校、中学校 4 校、合わせて 8 校の学校が実施しています。
佐藤委員長	そういう意味では随分と増えたのですね。 学校側の夏季休業期間中に授業をしたいという要望も、これだけ見るとやはり多いですね。その辺の学校側の、特に夏季休業期間中に授業を実施したい理由と、それに対する保護者の意見等、何かありましたらお聞かせいただけますか。
野村学校指導課長	やはり宿泊体験学習を夏季休業期間中に行いたいという学校が一番多いのですが、ほかの施設を使うことから、授業日のときには申し込みをする

学校が重なって、なかなか学校の都合のいい日に取れないのです。それなら夏季休業中を見計らって、そこで思い切り宿泊体験をさせたいという小学校が大変多くなっています。

それからキャリア体験についても、授業の合間を縫って二日間選んだりするよりも、やはり夏季休業中の方がじっくり取り組めるという考え方があるようです。

佐藤委員長

それに対して保護者のご意見等は何かありますか。

野村学校指導課長

この申請については4月下旬までに学校から教育委員会へ申請することになっていますが、当然申請する際には保護者に説明し、了解をもらってから申請するという形を取っています。

早川委員

質問です。このキャリア教育というのは中学校2年生を対象として、全員が参加するのですよね。そうすると希望の企業を振り分けて、もちろん自分の希望ではない企業に行かなければいけない生徒が出ることもあり得ますよね。これは去年もなさったのでしょうか。去年も実施されたのであれば、去年の反省や問題点、課題などがあったら教えてください。

また、自分の希望ではない職場に出向く生徒たちがいるなら、そういう生徒たちの感想など、何か報告があれば教えてください。

野村学校指導課長

正確には答えられない部分があるのですが、学校にとっては夏休みを行うことで準備がきちんとできるということがあると思います。それから、ほかの学校と重なる日が少なくなるので、当然協力していただける企業等が協力を申し出やすいということもあると思います。また、早川委員からご指摘がありましたように、子どもたちが希望するような企業が含まれない場合もあるので、そのときには抽選になることもあると聞いています。

報告第11号 平成24年度金沢市立工業高等学校の募集定員及び推薦入学における推薦枠について（市立工業高等学校事務局）

（説明の概要）今年3月、金沢市教育委員会第3回定例教育委員会で「金沢市立工業高等学校本科第1部（全日制課程）の学科の新設及び廃止並びにコース制の廃止について」ご審議いただき、ご承認をいただいた。4月に石川県教育委員会に申請して、5月に「設置を許可する」という通知が石川県から届いたため、平成24年度金沢市立工業高等学校の各科の募集定員は、機械科80名、新設の電気科、電子情報科が各40名、建築科、土木科が各40名、5科計240名である。推薦枠については、機械科が20名、電気科、電子情報科、建築科、土木科が各10名で計60名である。募集定員に対する推薦枠は25%で実施させていただきたい。これは石川県公立高等学校入学者選抜方針の「職業に関する学科」の推薦枠が、募集定員の30%以内から25%以内に変更となったためである。本校でもいろいろ検討したが、中学校の校長の推薦を受けた、安定した学力を有する生徒が全体の2割5分程度入ってくることが望ましいという判断に基づき、推薦枠は25%で実施させていただきたい。参考に、今年度は各学科において30%の推薦枠で実施した。

（特になし）

その他（1）平成23年度金沢市教員採用候補者選考試験（金沢市立工業高等学校教員）の申込状況について

（説明の概要）金沢市立工業高等学校教員の来春採用予定に対する採用試験は6月10日が締め切りだったが、郵送分が若干あるので、昨日現在の状況をご報告させていただく。今回は5教科6名の採用予定に対して、申込者数は現段階で51名である。それぞれの試験区分の倍率はお手元の

資料のとおりである。おおむね昨年並みの申込状況ととらえている。

なお、参考として今年度の 51 名の中身だが、女性の方が 22 名、このうち養護教諭 12 名はすべて女性である。20 代の方が多いが、30 代、40 代の方が 14 名となっている。7 月 10 日(日)に第 1 次試験を実施し、1 次の可否の通知は 8 月中旬に予定している。

早川委員

「工業(機械)」と「工業(電気)」の申込者の中で、教職にずっと就いてきた方ではなく、いったん企業に入られて今回教職希望という方はいらっしゃいますか。

平嶋市立工業高校
教育改革推進室長

職種は別として、民間企業の正社員の方でお申し込みいただいている方が 4 名ばかりいらっしゃいます。それぞれキャリアとしては異なりますが、そういった方もいます。

その他(2)平成 23 年度「全市一斉学校公開週間」の実施結果について

(説明の概要)開かれた学校づくりを推進するため、5 月 30 日(月)~6 月 3 日(金)まで「全市一斉学校公開週間」を実施し、小学校 59 校・1 分校、中学校 24 校、市立工業高等学校で保護者や地域の方々に参加していただいた。各学校では意見箱などを設置して、保護者や地域の方々に意見を聞き、今後の学校運営の参考にしている様子が見られた。

今年度の参観者については、総数 16,016 人、内訳は小学校 14,945 人、中学校 1,059 人、高等学校 12 人だった。昨年度と比べると小学校が若干減少し、中学校が若干増加した。総数で 100 人余の減少になっているが、ほぼ昨年並みと考えている。昨年度から公開週間の初日には「全市児童生徒あいさつの日」の活動を併せて実施している。そのことを基にして参観者の増加につなげているが、今後は周知方法などを工夫して、より多くの方々に参観していただけるよう努め、開かれた学校づくりを一層推進していきたい。

前川委員

昨年と同じくらいの参観者ということですが、昨年も今年も実施されて、参観者からのいろいろな要望や意見は、今の時点で何かありましたか。

野村学校指導課長

保護者からの声は、今のところ委員会には直接いただいているのですが、各学校で意見箱等に入れられた保護者の方々のアンケート用紙を見て、集約しながら、今後の学校運営に生かしているという姿は、訪問の折にも見せていただきました。私もある学校を訪問させていただいた折に、アンケート用紙を校長から見せていただいたのですが、保護者のアンケート用紙には 4 段階で評価するような項目があって、その下に意見を書く自由記述欄を設けていました。私が見た中では非常に好意的な意見が多く見られ、正直良かったなというふうに学校の方を見せていただきました。

前川委員

今回の「一斉学校公開週間」と、いわゆる各学校で行っている授業参観は当然位置付けが違うのだらうと思いますが、個々の学校によってやはり対応も少し違うのではないかという気がするのです。

今は参観者の意見ということでしたが、あと子どもたちの反応がどうだったか、それから教職員として、その違いをどう位置付けながら公開週間を準備しているのか、あるいはその後でどう評価しているのか、そのあたりについては教育委員会として何か取りまとめたり、あるいは学校間での意見交換をしたりという企画はありでしょうか。

野村学校指導課長

今のところ教職員からの意識ということでの集約は行っていません。ただ、学校長からは、いろいろな会合の折に校長とお会いすることがあるので、そのときの様子を聞かせていただくことになっています。子どもたちについては、この公開週間が定着してきているととらえているのか、それ

によって学校生活に支障が出ているという声が子どもから学校に上がっているということは聞いていません。おおむね肯定的に受け止めながら、通常どおりの学校生活をしていただいていると受け止めています。

前川委員

通常の学校における授業参観は、自分のお子さんがどういう生活をしているのか、見に行くというような形で授業参観というものがあると思うのです。この場合は公開週間ということで、やはり学校全体を見ていただいて、保護者の方に学校とコミュニケーション等を取っていただきたい。あるいは学校全体についてのご意見を聞くための公開週間なのだろうという気がするのです。そうだとすると、アンケートも含めて、もう少しいろいろな意見が出やすいような、例えばPTAの会合などで、そういうことについての評価をしていただくとか。いろいろなことをしていच्छゃると思えますが、そういう方向性をしっかり持っておかないと、単に「公開週間ですよ」と言って、ざわざわと来て、「まあまあいいですよ」ぐらいで終わってしまうと、せっかくの企画がもったいないと思います。

そのあたり、もう少しいろいろなことを考えて、「質の高い」と言う用語弊がありますが、役に立つような、学校運営にプラスになるような、あるいは子どもたちの環境にプラスになるような形に発展させていただきたいと思えますので、よろしく願います。

佐藤委員長

私も前川委員の意見をお聞きして思ったのですが、やはり通常の、いわゆる保護者会と称するのでしょうか、それとはまたちょっと違った意味合いを持っているのだろうと思えますし、全市一斉で同じころに行くということで、やはり共通性があるわけです。そうすると、やはりそういう機会をとらえて、学校に対する保護者の意識なり評価というものを、単に学校だけでとどめておくのではなく、市としても市教育委員会としても、何らかの形でそれを集約するなりして、その評価なり意見のまとめ等を少し検討してみたいかがでしょうか。一斉にやるという意味合いがあるので、それを何か市の教育全体の評価として活用するという手だても少し考えてみたらどうでしょうか。

そういう趣旨をお持ちでお話しされたのかなと思いましたので、その辺をまた少し検討していただければと思います。

野村学校指導課長

今のご意見を伺いまして、学校指導課の方でもまた少し検討させていただきたいと思えます。

その他(3) 金沢海みらい図書館の利用状況について

(説明の概要) 金沢海みらい図書館が5月21日(土)に開館し、3週間余りが経過した。開館から昨日まで、22日間の利用状況については、入館者総数は76,426人、そのうち実際に本を借りた利用者数は18,250人、貸出冊数は77,953冊、新規に図書館カードを作成した新規登録者数は5,953人である。1日当たりの平均数は、入館者数は3,474人、利用者数は830人、貸出冊数は3,543冊である。平均数を曜日別で比較すると、土日にはいずれの項目も平日の2倍近い利用がある。実際の利用状況としては、平日の午前中は乳幼児を連れのお母さん方やお年寄りの方、午後からは学校から帰ってきた近隣の小中学生が中心になり、連日多くの方でにぎわっている。土曜・日曜には家族での来館が目立つほか、新規で登録される方も多く、金沢海みらい図書館の開館が地域の新たな図書館需要を喚起したものと思われる。今後とも季節に応じた各種イベント等を開催するなど、多くの方に気軽に足を運んでいただけるよう努力していきたい。

佐藤委員長

この表の意味合いですが、入館者数は平均3,474人/日、利用者数は平均830人/日と、かなり差があるのですが、利用者数というのは本を借りた人という意味ですか。貸出冊数を見ると平均3,543冊/日で、入館者数と同じ

くらいなので、一人1冊くらい借りたのかなと思ったのですが。

早川委員

何かちょっと違うようですが。

佐藤委員長

これでいくと、一人の人がたくさん借りているということですか。これはどのように解釈したらいいですか。

石蔵金沢海みらい
図書館長

ご指摘のとおり、入館者数は図書館に実際にいらっしゃった方の総数で、館内で雑誌や新聞、本を読んで、貸し出しをされずに帰られた方をすべて含みます。利用者数は実際に図書館の本を借りられた方で、これが830人なので、お一人当たり大体4~5冊の本を借りていることになります。

佐藤委員長

私はほかの図書館の状況をよく知らないのですが、絶対数もかなり多いのではないかと思いますし、貸出冊数も随分多いようなので、非常によく利用されていて結構なことだと思います。

早川委員

これから夏休みに入りますね。例えば本を借りるといふ子どもたちよりも、本を参考にお勉強しに来るといふ子どもたちが増えそうですね。玉川図書館はそういう利用が多いですね。そんな利用者たちのためのスペースもちゃんと確保できているのでしょうか。せっかく見せていただいたのに気が付きませんでした。

石蔵金沢海みらい
図書館長

建物の3階に学習コーナーがあって、そちらに持ち込み可能な学習席を85席用意しています。現在でも学校帰りの中学生などがたくさん来て、そちらで学習や受験勉強などを行っています。

以 上

会 議 録 署 名

教育委員長 _____ 署 名

教育委員 _____ 署 名

(早川委員)

[非公開議案の主な質疑・応答の内容について]

議案第 20 号 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱等について（教育総務課）
金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会設置条例第 3 条の規定により、次のとおり金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員を委嘱します。

1 委員の委嘱

区 分	氏 名	所属団体・機関及び役職	備考
住民自治 組織代表	平田 博	金沢市町会連合会会長	再任
	能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長	再任
学校長代表	中村 雅恵	金沢市立金石町小学校校長	再任
	松坂 浩一郎	金沢市立泉中学校校長	再任
教育関係 団体代表	大島 淳光	金沢市 P T A 協議会会長	再任
	高木 美佐子	金沢市 P T A 協議会副会長	再任
知識経験を 有する者	谷村 昭雄	金沢市公民館連合会副会長	再任
	橋本 和幸	金沢大学名誉教授 前ノートルダム清心女子大学教授	再任

2 任 期

平成 23 年 7 月 18 日から平成 25 年 7 月 17 日まで（2 年）

3 理 由

任期満了に伴う新たな委嘱

議案第 21 号 金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について（歴史建造物整備課）

金沢市伝統的建造物群保存地区保存条例第 10 条の規定により、下記のとおり金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を委嘱します。

1 委員の委嘱

区 分	氏 名	役 職 名	新再任の別
関係地域を 代表する者	森 博	卯辰山山麓地区まちづくり協議会	新任

2 任 期

平成 23 年 7 月 1 日から平成 25 年 2 月 28 日まで

3 理 由

地域代表者枠拡充に伴う新任

卯辰山麓伝統的建造物群保存地区の決定に伴い、広く地元の意見を取り入れるため

(参考) 金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員名簿

区 分	氏 名	役 職 名
知識経験を 有する者	浅田 裕久	金沢商工会議所
	高川 順正	石川県建築士会
	川上 光彦	金沢大学理工研究域教授
	黒川 威人	金城大学短期大学部教授
	中村 明子	弁護士
	平井 聖	昭和女子大学特任教授
	増田 達男	金沢工業大学教授
	屋敷 道明	金沢市文化政策調査員
	横山 方子	石川郷土史学会
関係地域を 代表する者	金谷 武彦	東山親和会会長 金沢東山・ひがしの町並みと文化を守る会会長
	松村 光雄	主計町町会会長
	中村 玲子	東料亭組合
	森 博	卯辰山山麓地区まちづくり協議会
関係行政機関	岡田 義彦	石川県教育委員会文化財課長

以 上